

11. 好間地区炭鉱産業遺産

※写真の番号は常磐炭田案内図をこまごま見てください。

古河好間炭礦(株)があった北好間と内郷駅を結ぶ専用鉄道の遺構は常磐炭田随一です。又職場と住宅を結ぶ三つの吊り橋や炭住、戦時中に作られた産業戦士像やズリ山があります。



①古河好間炭礦専用鉄道橋梁



②古河好間炭礦火力発電所



③産業戦士の像(「進発」)



④通勤用吊り橋(大畑)



⑤通勤用吊り橋(松坂)



⑥好間 田代ズリ山

12. 内郷地区炭鉱産業遺産

石炭発見の地として早くから多くの炭鉱が進出し常磐炭田の中心でしたが、昭和30年代に採掘は終了しました。ここでは白水仙と宮川流域の谷間に沿って石炭が採掘され、それに付随した炭鉱施設、山神社、人馬が石炭を運んだ山道、住宅、商店街の移り変わりや盛衰が見られる所です。



⑦安全を祈願した内郷山神社(現在の内町公園)



⑧石炭発見の地にある「みろく沢炭鉱資料館」での学習



⑨常磐炭礦内郷礦中央選炭工場



⑩赤煉瓦の扇風機上屋



⑪石造りの住吉一坑坑口



⑫水中貯炭場



⑬常磐炭礦内郷礦縦坑ズリ山(左)と赤煉瓦の大煙突(右)



⑭炭鉱住宅

13. 湯本地区炭鉱産業遺産

ここがいわき地域の石炭の終焉の地です。長く常磐炭礦(株)の本拠地として選炭場や石炭を積み出した万石を有し、専用鉄道を通じて湯本駅から石炭を出荷しました。「いわき市石炭・化石館(愛称ほるる)」はこの地で1984(昭和59)年に開館しました。



⑮いわき市石炭・化石館(愛称ほるる) 堅坑櫓・産業戦士の像(「総決起」) 昭和天皇御製の碑



⑯実際石炭を運んだ SL

⑰第六坑坑口(昭和天皇ご入坑)、保存された坑口



⑱炭鉱(ヤマ)の守り神湯本山神社



⑲常磐炭礦磐崎礦本坑坑口



⑳常磐炭礦磐崎礦万石(まんごく) (手前の道路は旧専用鉄道、後方にズリ山が見える)



㉑常磐炭礦磐崎礦選炭場

常磐炭田案内図

は当時の専用鉄道(現在は廃線)

好間地区

- ①古河好間炭礦専用鉄道橋梁
- ②古河好間炭礦火力発電所
- ③産業戦士像「進発」
- ④通勤用吊り橋(大畑)
- ⑤通勤用吊り橋(松坂)
- ⑥好間 田代ズリ山

内郷地区

- ⑦常磐炭礦内郷礦山神社・相撲場
- ⑧みろく沢炭鉱資料館
- ⑨水中貯炭場・選炭場・住吉一坑
- ⑩常磐炭礦内郷礦縦坑ズリ山と大煙突
- ⑪炭鉱住宅
- ⑫赤煉瓦の扇風機上屋
- ⑬常磐炭礦内郷礦中央選炭工場
- ⑭炭造りの住吉一坑坑口
- ⑮石炭発見の地・片寄平蔵・加納作平の碑
- ⑯実際石炭を運んだ SL
- ⑰第六坑坑口(昭和天皇ご入坑)、保存された坑口
- ⑱常磐炭礦磐崎礦本坑坑口
- ⑲常磐炭礦磐崎礦万石(まんごく)
- ⑳常磐炭礦磐崎礦選炭場

湯本地区

- ㉑常磐炭礦磐崎礦選炭場
- ㉒いわき市石炭・化石館「ほるる」
- ㉓湯本山神社
- ㉔炭鉱(ヤマ)の守り神湯本山神社
- ㉕常磐炭礦磐崎礦本坑坑口
- ㉖常磐炭礦磐崎礦万石(まんごく)
- ㉗常磐炭礦磐崎礦選炭場

アクセス

お車で... (東京から約2時間30分)

東京方面 首都中央環状線→三郷→常磐自動車道

仙台方面 東北自動車道→磐越自動車道→常磐自動車道

新潟方面 磐越自動車道→常磐自動車道

電車で... (東京から約2時間30分)

東京方面 上野駅よりスーパーひたち号

仙台方面 仙台駅よりスーパーひたち号

新潟方面 新潟駅 MAX とき号→上野駅よりスーパーひたち号

お問い合わせ先

いわき市石炭・化石館

〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本町向田3-1

TEL0246(42)3155 FAX0246(42)3157

http://www.i-heritage.com

見学上お願い

- 産業遺産を見学する際は安全に十分注意してお出かけ下さい。法律で禁じられた場所への立ち入りはできません。本ガイドの情報に起因する損害についてその責任を負いかねます。情報はご自身の責任の上でご利用下さい。
- 遺産は私有地や立入禁止区域にある場合もありますので、必ず事前に確認してから見学して下さい。

湯ノ岳 593m

【第一期】 露頭 - ツルハン探炭

【第二期】 斜坑 - 堅坑探炭

【第三期】 斜坑 - 堅坑 - 機械探炭

常磐炭田炭層概念図

石炭露頭

炭層(傾斜約10~15°)

温泉脈

温泉

湯本温泉

温泉湯をする常磐湯本温泉(株)

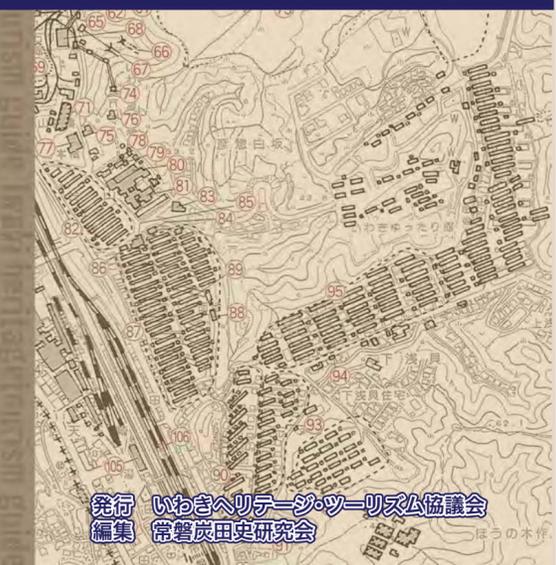
地底 600~700m

基盤岩(花崗岩)

太平洋

いわき 常磐炭田・炭鉱産業遺産学習資料

ヘリテージ・ツーリズムガイド



発行 いわきヘリテージ・ツーリズム協議会
編集 常磐炭田史研究会

産業遺産(ヘリテージ)について

幕末から昭和初期にかけての産業近代化の過程は「モノづくり大国・日本」の礎として極めて大きな意義を持っています。平成19年には経済産業省が全国の「近代化産業遺産群33」を認定しましたが、常磐炭田の炭鉱遺産も「京浜工業地帯の重化学工業化に貢献した産業遺産群」として33カ所の一つに入っております。

地域活性化に役立つ 近代化産業遺産プレート

経済産業省では、近代化産業遺産の保存・活用を一層進める観点から、33の近代化産業遺産群を構成する個々の近代化産業遺産を地域活性化に役立つ資産として認定し、その所有者の方々に対し、認定証及びプレートを交付しています。



内郷山神社(現在の内町公園)に置かれた認定プレート